

## 国立感染症研究所からの新たな発表のお知らせ（2022年6月17日付）

✦ 「病原体検出マニュアル/サル痘ウイルス/第1版」が提示されました ✦

国立感染症研究所より、「病原体検出マニュアル/サル痘ウイルス/第1版」が、2022年6月17日付で発表されました。

この病原体検出マニュアルでは、オルソポックス属ウイルス全般を対象とした SYBR-Green 法と、サル痘ウイルスと水痘帯状疱疹ウイルスを検出するマルチプレックス法によるリアルタイム PCR を提示しています。本病原学的検査は、この二種類のリアルタイム PCR で行うとしており、プライマー・プローブの配列が明記されています。

弊社では、これらのプライマー・プローブの合成を承ります。なお、マルチプレックス法に用いるプローブの修飾は、以下のようになりますことをご了承ください。

5'-FAM / 3'-MGB → 5'-FAM / 3'-BHQ1<sup>®</sup> -MGB

5'-VIC / 3'-MGB → 5'-HEX / 3'-BHQ1<sup>®</sup> -MGB

ポックスウイルス科オルソポックスウイルス属に分類されるサル痘ウイルスによる感染症は、2022年5月以降、欧米を中心として相次いで報告されています。感染研では、検査診断を含めた対応について整備しておく必要があるとしています。

国立感染症研究所からの今後の発表にも注目し、興味深いものは、随時お知らせしたいと思います。